



“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和8年1月②
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobb.jp



◆寺院葬

檀家の皆様のだれでもが、いつでもお参りしやすいようにと崇山会でも様々な境内整備をすすめてきていただきました。たとえば以下のようなことがありました。

駐車場の整備

東司(トイレ)の増設

同上洋式便座の設置

階段手すりの設置

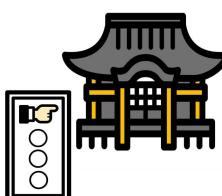
本堂エアコン整備

境内への車進入路の整備

本堂へのスロープ設置 など

これらのことは、お寺での葬儀をすることにもいかされています。

昭和の時代の葬儀は、地縁の相互扶助により自宅で行われることが多かったですが、家の作りの変化、駐車場不足などにより会館葬が増えいきました。



菩提寺での葬儀も一定数ありました。古くは一般的に行われていたようです。



令和になりコロナ禍が席巻し、葬儀においては式前焼香の方が増え、遺族親族以外の会葬者が少なくなりました。

広い会館葬の必要性が低くなり、町内でも寺院葬の案内が増えているように感じます。もちろん諸条件が調うお寺に限ります。



長安寺でもここ数年、本堂を式場としてご葬儀を厳修してきました。会館葬ほどの快適さはないかと思いますが、相当数の椅子も揃っていますし、左記にあげたような諸条件が調っているお陰です。

寺院葬は、会館葬にはない莊厳さがあると言われます。亡き人も永年手を合わせてきたご本尊様、また自らの血脉につながる多くの祖師方に見守られながらのご葬儀となることが、寺院葬のよさと言えます。

当山で行う場合、葬儀用の莊嚴幕をかけ、祭壇や鳴らしものの設置、洒水器・茶湯器、もちろん香華燈燭の準備、また悔受所や張場の準備、参列者の茶菓準備、前後の清掃などしています。

たいへんではありますが、菩提寺である長安寺の本堂を活用して頂けるのはありがたいこと感じています。

なお、年末年始、盆、大きな法要があるとき、大雪や極寒の時など、ご希望に添えないこともありますことご了承ください。

